

平成29年度事業評価採点表

NO	氏名	1. 地域の経済動向調査に関すること		2. 経営状況の分析に関すること		3. 事業計画の策定支援に関すること		4. 事業計画策定後の実施支援に関すること		5. 需要動向調査に関すること		6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること	
		評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント
1	高橋幸司	A	調査並びにその結果の公表を十分に行っている。特に経営指導員全員が分析評価ができることは強みとなる。	A	経営課題に応じたグループ分けは良い。	A	事業目的に応じた計画策定数が大きく目標を超えている。	B	事業所の課題がどのような状況にあるのかを分析して、目標とするフォローアップ回数を見直すべきと考える。	B	県内バイヤーに目を付けた点は評価できるが、県外バイヤーに受け入れてもらえない原因を明らかにすべきである。	A	展示会や物産展成功している。
2	小沢 互	A	調査はよくされていると思います。今後の成果に期待します。	A	よく取り組まれていると思います。効果について記述が必要でしょう。	B	事業承継、創業及び第二創業に関する計画策定件数の増加必要だと考えます。	B	全般的に低調だと思えます。	B	低調な項目が多いと思います。目標から見直す必要があるかもしれません。	A	独自の取組みは高く評価されるものと考えます。
3	本多喜悦	A	良く情報発信を実施したと判断されます。	B	特に経営分析事業者数16社に対して4社は少ないと判断されます。個別企業から強くなってもらわなければならないので今後の掘り起しを期待します。	A	各種事業計画策定は良く実施されたと判断します。	B	地域活性化のひとつである創業者フォローについて、更なる取組みを期待します。	B	バイヤーの声を聴くことで成約につながることから、更なる取組みを期待します。しかし県内バイヤーからこれまでにない聞き取りを実施したことは評価されます。	B	BtoCについては良く取り組んだことは評価されますが、BtoBについての実績が少なく、来年度以降の実施を期待します。
4	渡部 力	B	未達項目への取組みにも力を入れてほしい。	A	目標数値を上回っている項目も多く、活発な活動を評価。	A	事業目的に合せた計画策定という実務支援は高い実績であり評価。	B	新規支援に労力を割かれフォローアップ活動は十分な結果ではなかった。	B	アンケート結果を効果的な施策につなげてほしい。	A	子育て応援プレミアム商品券等独自事業での地元支援を評価。
5	斎藤 匡	A	全体的に達成率も高く良好であると思われます。	A	経営計画策定、経営革新塾、創業塾の受講者に対する経営分析事業者数に対する実績は未達となったが、それ以外は目標を達成している。	A	全体的に達成率も高いが、事業承継計画策定数の実績がゼロ件であり、残念な結果である。	C	ほとんどの項目が未達であり、改善が必要であると思われる。	B	消費者アンケート調査は当初計画通り実施しなかったとあり、最初から項目に加える必要がなかったと思われる。その他の項目についても未達項目が多い。	A	成約件数が低調であり、今後どのようにして成約件数を上げていくかが課題であると思われます。
6	池田真英	A	コメントなし	A	支援グループAのなかから経営革新計画の新たな認定事例が創出されるよう継続的な支援を続けてほしい。	A	事業承継計画の策定支援については、実績の有無にとらわれず、地道な働きかけ、支援を続けて行ってほしい。	A	計画策定の件数自体が少ないという事情があるのだろう。目標が実態に合っていない。	B	アンケート調査、聞き取り調査の件数が目標を下回ったのはやむを得ないが、物産展等への参加事業者の増加に向け努力してほしい。	B	BtoB商談会の参加事業者の増加に向け努力してほしい。
7	森屋健一	A	調査結果の分析と活用のため、人材登用されたことは、今後の取組みの充実が期待されます。	A	支援対象をグループ分けし、支援内容を共有していることで的確な経営指導につながる対応であると思います。	A	持続化補助金や県トータルサポート補助金、マル経資金の活用回数多く対応されており、事業者ニーズに据えていると思います。事業承継や創業は、よほどの掘り起ししないと実績はのびないと思う。	A	同右	B	販路開拓(マーケティング)については、事業者の相当の意欲が必要と思いますので、成果を出すのが難しい分野と理解します。	A	地域内の団体による外国人技能実習生受入れに関する取組は注目されると思います。
8	今野 徹	A	ホームページによる情報提供には限界もあるため、全会員には無理でも、メールマガジンなどの配信も含めた検討をしていたきたい。	A	コメントなし	A	コメントなし	B	コメントなし	B	コメントなし	B	展示会や物産展等のみならず、楽天やTモールなどのECサイトへの登録や、敷居が高い場合は、めいぶつチョイス(平成30年度から三川町が始める。県内初)などの活用も含めた検討をしてはいかかか。
9	松本壽太	A	世の動きがとても早い。調査、分析の結果をできるだけ速やかに、会員の立場に立って対応なり心構えを伝えること大事。	A	意欲の醸成、受講者の発掘、経済の方向等の示唆、地に足ついた地道な活動がバックに必要。	A	コメントなし	B	進捗状況、フォローアップ軌道修正等が重要。	B	現状理解も大事、国・行政に任せきりでは解決しない社会問題。地方在住者は皆一丸となり一歩でも前に進む施策必要。教育を含め大問題。	A	幅広い会員、職種、全体フォローは難しい。より広い商品、職種の浸透をどう拾うか。
10	大瀧郁夫	A	調査及び情報公表は概ね良好に実施されている。	A	経営実態調査に対して、状況の把握、分析は詳細に実施されている。尚、経営革新の認定数を増やす必要あり。	B	事業計画については、セミナー等の開催や支援、金融等について良好であるが、今後大きな問題となる事業承継について長期的な支援計画が必要と思われる。	B	事業者毎の事業計画をより詳細に把握し、課題に沿った具体的なフォローアップが必要と思われる。	B	商談会や各種物産展等を活用したアンケート調査等の実績はみられるが、結果の情報提供や活用方法を検討する必要があるのではないか。	B	イベント等に出席する事業者を増やす事により、実績をあげていく必要がある。また、新たな需要開拓として海外取引の拡大が望まれるが、結果を焦ることなく、一歩一歩着実な振興が必要と思われる。
総合評価		A	A-9名 B-1名	A	A-9名 B-1名	A	A-8名 B-2名	B	A-2名 B-7名 C-1名	B	A-0名 B-10名	A	A-6名 B-4名